

大規模災害時の相互応援に関する金沢宣言

平成23年3月11日に太平洋三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は、我が国観測史上最大規模の地震であり、東北地方から関東地方にかけての東日本一帯に未曾有の被害をもたらした。

本日、金沢市で開催した「中核市防災第5応援チーム連絡会議」において、秋田市、船橋市、金沢市、西宮市、和歌山市、下関市、宮崎市が一堂に会し、今後、各都市で想定される大規模地震における被害規模や課題について話し合い、大規模災害時の相互応援に向けた連携強化の重要性を確認した。

我々7都市は、市民の安全、安心を守るため、平時から相互に情報の共有を図り大規模災害発生時には可能な限り相互に応援していくことを、7都市の総意により、ここに宣言する。

平成25年8月19日